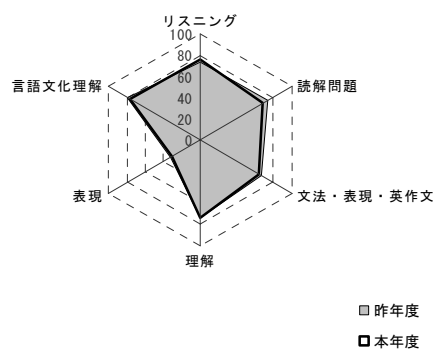


1 年 英語

宇都宮市立瑞穂野中学校

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

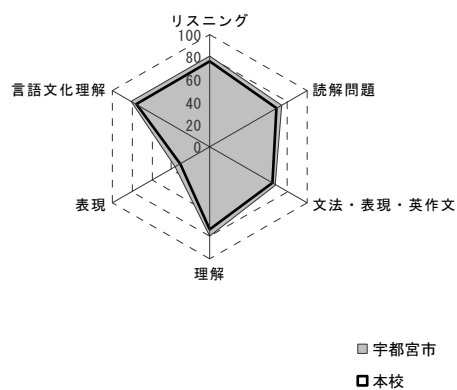


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	リスニング	76.2	73.3
	読解問題	69.3	73.7
	文法・表現・英作文	64.0	66.8
観点別			
	理解	74.0	73.4
	表現	30.1	32.7
	言語文化理解	76.7	79.6

受検人数	本年度	昨年度
	83 人	57 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



■平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	81.5	76.2
	読解問題	74.3	69.3
	文法・表現・英作文	68.2	64.0
観点別			
	理解	79.2	74.0
	表現	35.6	30.1
	言語文化理解	80.5	76.7

受検人数	宇都宮市	本校
	4204 人	83 人

昨年度に比べ、領域別でリスニングの平均正答率が上がった。一方、文法・表現・英作文の平均正答率が低い。観点別に見ても、表現が著しく劣っている。単語力及び構文の理解が不十分なため、和文英訳における表現力が最重要課題である。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	他の領域より高い正答率だが、対話による内容把握になると正答率が低い。対話独特の表現の理解が不十分である。	口頭による導入及び新出文法事項の紹介を徹底する。また内容理解のために英問英答の指導を多用していきたい。
読解問題	対話文における内容一致は昨年同様だが、適語補充の正答率が昨年度に比べ10ポイント程度下がった。	内容把握のために、基本的な疑問詞の使い方と会話独特の表現を理解させ、情報の整理をしながら読み取る力を養わせたい。
文法・表現・英作文	表現の知識理解は十分習得できているが、適切な場面の中で自然な英語を運用する力が不足している。	日本語と英語の語順の違いなど構文の理解と疑問詞を含めた文の種類に習熟させたい。また語彙力を高める指導をしていきたい。